

#### 4.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

##### 1) 動物の生息状況、重要な種及び注目すべき生息地の状況

調査区域における動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況については表 4.1-2 に示す文献資料を基に整理しました。

##### (1) 動物相の状況

###### 哺乳類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある哺乳類は、7 目 16 科 43 種です。主に山林に生息するムササビ、ニホンアナグマ、ニホンイノシシ、キュウシュウジカ、山地から耕作地等の人里にかけて広く生息するタヌキ、キツネ、水域周辺をよく利用するイタチ属等の生息記録があります。また、洞窟等の特殊な環境を利用するコキクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ユビナガコウモリ等も記録されています。

###### 鳥類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある鳥類は、22 目 67 科 317 種です。カモ類、カイツブリ類、サギ類、チドリ類、シギ類、カモメ類、カワセミ、カワガラス等の水辺の鳥、アオゲラ、シジュウカラ等の山林に生息する種、ヒバリ、カワラヒワ等の草地に生息する種、ハシボソガラス、スズメ等の耕作地から市街地にかけて広く出現する種等の生息記録があります。また、生態系の上位に位置するミサゴ、サシバ、ノスリ、ハヤブサ等の猛禽類も記録されています。

###### 爬虫類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある爬虫類は、2 目 9 科 17 種です。山林に生息するタカチホヘビ、ジムグリ、山地から耕作地等の人里にかけて広く生息するニホントカゲ、ニホンカナヘビ、水田等の水域周辺をよく利用するヒバカリ、ヤマカガシ、用水路や河川周辺に生息するニホンイシガメ、ニホンスッポン等の生息記録があります。

###### 両生類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある両生類は、2 目 7 科 16 種です。主に山林の沢やその周辺に生息するタゴガエル、ヤマアカガエル、カジカガエル、丘陵地・低山地の二次林や竹林、水場周辺に生息するオオイタサンショウウオ、低地の湿地や水田に生息するアカハライモリ、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル等の生息記録があります。

###### 魚類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある魚類は、14 目 46 科 120 種です。サツキマス(アマゴ)、アカザ、ギンブナ、タナゴ類、ナマズ、ミナミスナヤツメ、アカエイ、ボラ、スズキ等の生息記録があります。また、外来種であるブルーギル、オオクチバス、カダヤシ等も記録されています。

#### 昆虫類・クモ類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある昆虫類・クモ類は、23目376科3,984種です。ヒメハルゼミ、クロアゲハ本土亜種、ミヤマクワガタ等の山林を中心に生息する種や、スズムシ、ギンイチモンジセセリ、ツマグロキチョウ等の草地に生息する種、アオイトトンボ、コミズムシ、ミズカマキリ、コガタノゲンゴロウ等の止水性水生昆虫、ゲンバイトンボ、ムカシトンボ、キイロサナエ等の流水性水生昆虫等の生息記録があります。ヨドシロヘリハンミョウといった干潟を利用する種も記録されています。

#### 底生動物の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある底生動物は、35目128科310種です。下流域や用水路、止水域に生息するヒメタニシ、チリメンカワニナ、イシガイ科等の貝類や、湿地や水田等に生息するマルタニシ、オオタニシ等の生息記録があります。

#### 陸産貝類の状況

調査区域及びその周辺を含む地域において生息記録のある陸産貝類は、5目25科106種です。ゴマオカタニシ、アツブタガイ、オオコウラナメクジ等の山林を中心に生息する種、コベソマイマイ等の山林から低地林に広く生息する種や、ウスカワマイマイ等の低地の耕作地等に生息する種、湖沼や湿地周辺に生息するナガオカモノアラガイ等の生息記録があります。

## (2)重要な種及び注目すべき生息地の状況

### 重要な動物種

重要な動物の選定基準は、表 4.1.5-1 に示すとおりです。

調査区域及びその周辺における重要な動物種として、哺乳類ではサイゴクジネズミ、コキクガシラコウモリ、ムササビ、カヤネズミ等の 17 種、鳥類ではヤマドリ、オシドリ、チュウサギ、ハチクマ、ヤマセミ等の 93 種、爬虫類ではニホンイシガメ、ニホンスッポン、タカチホヘビ等の 7 種、両生類ではオオイタサンショウウオ、アカハライモリ、ニホンヒキガエル等の 7 種、魚類ではニホンウナギ、ヤマトシマドジョウ、ミナミメダカ、クボハゼ等の 37 種、昆虫類・クモ類ではゲンバイトンボ、オオムラサキ、コガタノゲンゴロウ等の 170 種、底生動物ではマルタニシ、マシジミ等の 79 種、陸産貝類ではゴマオカタニシ、ナガオカモノアラガイ、レンズガイ等の 40 種が確認されています。

このうち、調査区域において既存資料で位置が確認できた重要な動物種は表 4.1.5-10 に、位置は図 4.1.5-1 に示すとおりです。

表 4.1.5-1 重要な動物の選定基準

番号	法律及び文献	選定基準及びランク
	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号) 「大分県文化財保護条例」(昭和 30 年大分県条例第 12 号) 「大分市文化財保護条例」(昭和 51 年条例第 3 号) 「豊後大野市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 126 号) 「臼杵市文化財保護条例」(平成 17 年条例第 208 号)	特天：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年法律第 75 号)	国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種 第一種：特定第一種国内希少野生動植物種 第二種：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
	「大分県希少野生動植物の保護に関する条例」(平成 18 年 3 月大分県条例第 14 号)	指定：指定希少野生動植物種
	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(令和 2 年 3 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	「環境省版海洋生物レッドリストの公表について」(平成 29 年 3 月、環境省)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類、 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	「レッドデータブックおおいた 2011～大分県の絶滅のおそれのある野生生物～」(平成 23 年、大分県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類、 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	「レッドデータブックおおいた 2022～大分県の絶滅のおそれのある野生生物～」(令和 4 年 3 月、大分県)	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 類 CR：絶滅危惧 A 類 EN：絶滅危惧 B 類 VU：絶滅危惧 類、 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

表 4.1.5-2 重要な動物種（哺乳類）

番号	科名	種名	出典	選定基準				
1	トガリネズミ	サイゴクジネズミ	13,15,16,32,35					NT
2		カワネズミ	13,16,29				LP	VU
3	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	13,15,16,18					NT
4	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	11,13					NT
5		ノレンコウモリ	13,16				VU	VU
6		ヤマコウモリ	15,16				VU	DD
7		ヒナコウモリ	13,16					DD
8		ユビナガコウモリ	13,15,16					NT
9		コテングコウモリ	13					DD
10		テングコウモリ	13,16					EN
11		リス	ニホンリス	16				LP
12	ムササビ		7,13,15,16,18,29					NT
13	ヤマネ	ヤマネ	29	国天				NT
14	ネズミ	スミスネズミ	16					VU
15		ハタネズミ	11,16					NT
16		カヤネズミ	11,13,15,16,31,32,34,35					NT
17	ウシ	カモシカ	9	特天		指定	LP	CR
合計 7科17種				2種	0種	1種	5種	16種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典: 7) 「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

9) 「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」(平成16年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)

11) 「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13) 「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

15) 「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16) 「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

18) 「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

29) 「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

31) 「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32) 「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34) 「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35) 「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-3(1) 重要な動物種(鳥類)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
1	キジ	ウズラ	13,16				VU	DD	
2		ヤマドリ <sup>1</sup>	6,13,15,16,20,29				NT	NT	
3	カモ	ヒシクイ <sup>2</sup>	13,16,20	国天			VU, NT	VU, NT	
4		マガン	13,16,20	国天			NT	NT	
5		カリガネ	16				EN		
6		コクガン	6,16,20	国天			VU	VU	
7		ツクシガモ	13,16,20,21,35				VU	EN	
8		アカツクシガモ	13,16,20				DD	EN	
9		オシドリ	6,10,13,15,16, 18,20,29,35				DD	NT	
10		トモエガモ	10,13,16,20				VU	VU	
11		アカハジロ	13,16				DD	VU	
12		コウライアイサ	13,16,20		国際			NT	
13	ハト	カラスバト	16	国天			NT	VU	
14	コウノトリ	コウノトリ	13	特天	国内		CR	CR	
15	ウ	ヒメウ	13,16				EN	EN	
16	サギ	サンカノゴイ	13,16				EN	EN	
17		ヨシゴイ	13,15,16,20				NT	EN	
18		ミゾゴイ	13,16,20,29				VU	EN	
19		ズグロミゾゴイ	16				VU		
20		アマサギ	2,11,13,16,20,29, 32,35					NT	
21		チュウサギ	2,6,10,13,15,16,2 0,32,35					NT	NT
22		クロサギ	11,13,15,16,20, 35					NT	
23		カラシラサギ	13				NT	NT	
24	トキ	クロトキ	16,20				DD		
25		ヘラサギ	13,16				DD	EN	
26		クロツラヘラサギ	13		国内		EN	CR	
27	ツル	マナヅル	13,16,20		国際		VU	VU	
28		クロヅル	16,20				DD		
29		ナベヅル	13,16,20		国際		VU	VU	
30	クイナ	ヒクイナ	10,13,15,16,18, 20,28,29,34,35				NT	VU	
31	カッコウ	ジュウイチ	13,15,16					VU	
32	ヨタカ	ヨタカ	13,15,16,20				NT	EN	
33	アマツパメ	アマツパメ	11,13,15,16,20, 33,35					NT	
34	チドリ	ケリ	13,16,20				DD	NT	
35		コチドリ	2,6,11,13,15,16,2 0,29,32,33,34,35					NT	
36		シロチドリ	2,6,13,15,16				VU	VU	
37		メダイチドリ	11,16,35		国際				
38		オオメダイチドリ	16		国際				
39		セイタカシギ	セイタカシギ	13,16,20				VU	VU
40	シギ	シベリアオオハシシギ	4,13,16				DD	DD	
41		オオソリハシシギ	13,16,20		国際		VU	VU	
42		コシャクシギ	13,16,20		国際		EN	DD	
43		ハウロクシギ	13,16		国際		VU	VU	
44		ツルシギ	16				VU	VU	
45		アカアシシギ	13,16				VU	VU	
46		カラフトアオアシシギ	13,16		国内		CR	DD	
47		タカブシギ	13,16,20				VU	VU	
48		オバシギ	16,35		国際				
49		コオバシギ	16		国際				
50		ハマシギ	6,13,16,35				NT	NT	
51	ヘラシギ	13,16		国内		CR	DD		

表 4.1.5-3(2) 重要な動物種(鳥類)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
52	タマシギ	タマシギ	13, 16, 20				VU	VU
53	ツバメチドリ	ツバメチドリ	13, 16				VU	VU
54	カモメ	ズグロカモメ	16, 35				VU	EN
55		オオセグロカモメ	6, 13, 16				NT	NT
56		コアジサシ	2, 13, 15, 16				VU	CR
57	ミサゴ	ミサゴ	6, 13, 15, 16, 20, 29, 31, 32, 33, 34, 35				NT	NT
58	タカ	ハチクマ	13, 15, 16, 20, 32				NT	NT
59		チュウヒ	13, 15, 16		国内		EN	EN
60		ハイイロチュウヒ	13, 16					NT
61		ツミ	6, 13, 15, 16, 20					VU
62		ハイタカ	6, 10, 13, 15, 16, 20, 29, 32, 35				NT	NT
63		オオタカ	13, 15, 16, 20, 32, 35				NT	VU
64		サシバ	2, 13, 15, 16, 18, 20, 29				VU	VU
65		ノスリ	6, 10, 13, 15, 16, 20, 28, 32, 35					NT
66		クマタカ	13, 15, 16, 18, 20, 29		国内		EN	EN
67	フクロウ	オオコノハズク	13, 16					VU
68		コノハズク	13, 15, 16					VU
69		フクロウ	6, 13, 15, 16, 18, 20, 28, 29, 35					VU
70		アオバズク	11, 13, 15, 16, 20, 29, 32, 35					VU
71		コミミズク	6, 13, 16, 20, 35					VU
72	カワセミ	アカショウビン	11, 13, 15, 16, 20, 29, 35					VU
73		ヤマセミ	2, 6, 11, 13, 15, 16, 20, 29, 32					NT
74	ブッポウソウ	ブッポウソウ	2, 13, 16, 20			指定	EN	EN
75	ハヤブサ	ハヤブサ	6, 13, 15, 16, 18, 20, 28, 32, 33, 35		国内		VU	VU
76	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	13, 16, 20		国内		EN	EN
77	サンショウクイ	サンショウクイ <sup>3</sup>	2, 13, 15, 16, 20				VU	EN
78	カササギヒタキ	サンコウチョウ	2, 13, 15, 16, 20					NT
79	モズ	チゴモズ	13, 15, 16				CR	CR
80		アカモズ <sup>4</sup>	13, 16		国内		EN	EN
81	ウグイス	ヤブサメ	2, 13, 16					NT
82	ムシクイ	メボソムシクイ	15, 16					VU
83	ヨシキリ	コヨシキリ	16, 20					VU
84	キバシリ	キバシリ	15, 16, 20					NT
85	ヒタキ	トラツグミ	10, 13, 16, 20					NT
86		クロツグミ	13, 15, 16, 20					NT
87		コマドリ	13, 15, 16, 20					VU
88		コルリ	13, 15, 16					VU
89		キビタキ	10, 11, 13, 15, 16, 20, 28, 35					NT
90	イワヒバリ	カヤクグリ	13, 16					NT

表 4.1.5-3(3) 重要な動物種（鳥類）

番号	科名	種名	出典	選定基準				
91	ホオジロ	ホオアカ	6, 11, 13, 15, 16, 20, 32, 33, 34, 35					NT
92		ノジコ	16					NT
93		コジュリン	13, 16, 20					VU DD
合計		35科93種		5種	19種	1種	61種	84種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和7年度生物リスト）」（令和7年、国土交通省）に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

- 1：亜種アカヤマドリの場合に環境省 NT に該当
- 2：亜種ヒシクイの場合に環境省 VU、大分県 VU、亜種オオヒシクイの場合に環境省 NT、大分県 NT に該当
- 3：亜種サンショウクイの場合に環境省 VU、大分県 EN に該当
- 4：亜種アカモズの場合に種の保存法国内、環境省 EN、大分県 EN に該当

出典：2)「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査」(昭和56年3月、環境庁)

6)「第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(昭和63年、環境庁)

10)「モニタリングサイト1000」(令和7年12月現在、環境省自然環境局生物多様性センター)

11)「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

18)「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

20)「大分の野鳥300 大分県野鳥ガイドブック」(平成27年4月、日本野鳥の会大分県支部)

21)「FIELD WORKER 2013」(平成25年、希少生物研究会)

28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

29)「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

31)「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32)「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

33)「平成31年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務報告書」(令和2年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34)「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35)「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-4 重要な動物種（爬虫類）

番号	科名	種名	出典	選定基準				
1	イシガメ	ニホンイシガメ	13, 15, 16, 18, 24, 28, 29, 32, 35				NT	VU
2	スッポン	ニホンスッポン	13, 16, 24, 28, 29, 31, 32, 34, 35				DD	DD
3	ヤモリ	タワヤモリ	13, 16				NT	VU
4	タカチホヘビ	タカチホヘビ	13, 16					VU
5	ナミヘビ	ジムグリ	11, 13, 15, 16, 24, 29					NT
6		シロマダラ	13, 15, 16, 28					NT
7		ヒバカリ	11, 13, 15, 16, 24, 29					NT
合計 5科7種				0種	0種	0種	3種	7種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典: 11)「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13)「レッドデータブックおおいた 2022」(令和4年3月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

18)「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

24)「大分生物談話会会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかかわり」(令和2年5月、大分生物談話会)

28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

29)「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

31)「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32)「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34)「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35)「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-5 重要な動物種（両生類）

番号	科名	種名	出典	選定基準				
1	サンショウウオ	オオイタサンショウウオ	1,4,7,8,13, 14,15,16,17,18, 22,23,24,28,29, 32,35		第二種		VU	VU
2		コガタブチサンショウウオ	13,16		第二種		VU	VU
3		ソボサンショウウオ	13		国内		EN	VU
4		チクシブチサンショウウオ	13,16		第二種		VU	NT
5	イモリ	アカハライモリ	15,16,23,24,29, 34,35				NT	
6	ヒキガエル	ニホンヒキガエル	8,13,15,16,22,23, 24,29,31					NT
7	アカガエル	トノサマガエル	8,13,16,18,24,29, 34				NT	NT
合計 4科7種				0種	4種	0種	6種	6種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典：1)「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)

4)「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)

7)「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

8)「第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査」(平成13年10月～平成14年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)

13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

14)「オオイタサンショウウオ分布調査報告書」(平成9年1月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

17)「大分市環境基本計画(第四次)」(令和7年3月、大分市)

18)「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

22)「大分生物談話会会誌 第6号 大分市中部地域の自然」(平成10年3月、大分生物談話会)

23)「大分生物談話会会誌 第7号 大分市東部地域の自然」(平成14年6月、大分生物談話会)

24)「大分生物談話会会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかかわり」(令和2年5月、大分生物談話会)

28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

29)「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

31)「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32)「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34)「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35)「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-6 重要な動物種（魚類）

番号	科名	種名	出典	選定基準					
1	ヤツメウナギ	ミナミスナヤツメ	3,13,16,17,24,31,33				VU		EN
2	ウナギ	ニホンウナギ	3,5,15,16,19,22,24,29,31,33,35				EN		
3		オオウナギ	13						VU
4	コイ	キンブナ	3				VU		
5		オオキンブナ	8,13,16,24						DD
6		ヤリタナゴ	13,16				NT		NT
7		アブラボテ	7,16				NT		
8		ニッポンバラタナゴ	3				CR		DD
9		ヌマムツ	13						NT
10	ドジョウ	ドジョウ	3,5,8,16,22,24,28,29,33,34,35				NT		
11		ヤマトシマドジョウ	13,22				VU		NT
12	ギギ	ギバチ	3,5				VU		
13	アカザ	アカザ	13,16,17				VU		VU
14	サケ	サクラマス(ヤマメ)	16				NT		
15		サツキマス(アマゴ)	8,16,18,24,29				NT		
16	トゲウオ	イトヨ	4,13,16						EX
17	メダカ	ミナミメダカ	7,15,16,22,28,29,31,33,34,35				VU		
18	メバル	タケノコメバル	16					NT	
19	アカメ	アカメ	13				EN		NT
20	カジカ	カマキリ	3,4,5				VU		
21		カジカ中卵型	16				EN		
22		ウツセミカジカ(カジカ小卵型; 両側回遊型 中卵型を含む)	13				EN		EX
23	カワアナゴ	チチブモドキ	13						NT
24	ハゼ	イドミミズハゼ	13,16,34				NT		NT
25		ヒモハゼ	13,31,33,34,35				NT		NT
26		シロウオ	13,33				VU		NT
27		チワラスボ	13				EN		DD
28		コガネチワラスボ	13						DD
29		タビラクチ	13				VU		DD
30		トビハゼ	13,31				NT		NT
31		タネハゼ	11,13,34						NT
32		マサゴハゼ	31,33,35				VU		
33		クロコハゼ	13						NT
34		シマヒレヨシノボリ	11				NT		
35		ニクハゼ	13						NT
36		チクゼンハゼ	13				指定	VU	EN
37		クボハゼ	13,16				指定	EN	EN
合計 14科 37種				0種	0種	2種	27種	1種	24種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

: トウヨシノボリ類として記録されており、シマヒレヨシノボリを含む可能性があるため記載しました。

出典: 3)「第2回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和56年3月、環境庁)

4)「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)

5)「第3回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和62年3月、環境庁)

7)「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

8)「第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査」(平成13年10月~平成14年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)

11)「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

17)「大分市環境基本計画(第四次)」(令和7年3月、大分市)

- 18)「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成 29 年 6 月、豊後大野市)
- 19)「大分自然博物誌 プンゴエンス 第 2 巻」(平成 29 年 4 月、大分自然環境研究発表会)
- 22)「大分生物談話会会誌 第 6 号 大分市中部地域の自然」(平成 10 年 3 月、大分生物談話会)
- 24)「大分生物談話会会誌 第 12 号 大野川流域の自然と人とのかかわり」(令和 2 年 5 月、大分生物談話会)
- 28)「豊後大野市の自然 第 2 回会誌 合同調査報告書」(令和 2 年 12 月、豊後大野市自然史友の会)
- 29)「豊後大野市自然図鑑」(平成 25 年 3 月、豊後大野市自然史友の会)
- 31)「平成 26 年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務 報告書」(平成 27 年 3 月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)
- 33)「平成 31 年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務 報告書」(令和 2 年 2 月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)
- 34)「令和 2 年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務 報告書」(令和 3 年 2 月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)
- 35)「令和 4 年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務 報告書」(令和 5 年 3 月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-7(1) 重要な動物種 (昆虫類・クモ類)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
1	ハラフシグモ	ブンゴキムラグモ	12,18				VU	LP	
2		キムラグモ	12,16				VU	LP	
3	ジグモ	ワスレナグモ	34				NT		
4	トタテグモ	キノボリトタテグモ	12				NT	CR	
5	マシラグモ	マシラグモの1種 <sup>1</sup>	12					LP	
6	ホラヒメグモ	ホラヒメグモ類	12					LP	
7	ヒメグモ	ムラクモヒシガタグモ	12					NT	
8		オオツリガネヒメグモ	12					DD	
9		ツクネグモ	12					NT	
10	サラグモ	ズキンヌカグモ類	12					DD	
11		チビアカサラグモ <sup>2</sup>	11					DD	
12		ズダカサラグモ <sup>2</sup>	11					DD	
13		Nematogmus 属の一種	11,12					DD	
14		エビノマルサラグモ	12					LP	
15		ヌカグモ	11,12					DD	
16		アトグロアカムネグモ <sup>3</sup>	11,34					DD	
17		セスジアカムネグモ <sup>3</sup>	11					DD	
18		Ummeliata 属の一種	11					DD	
19		ヤミサラグモ類	12					LP	
20	アシナガグモ	ヒカリアシナガグモ	11,34					DD	
21	コガネグモ	キジロオヒキグモ	12					DD	
22		コガネグモ	11,12,32,34					NT	
23		チュウガタコガネグモ	12					NT	
24		イエオニグモ	11,12					NT	
25		ゲホウグモ	12					NT	
26	ササグモ	クリチャササグモ	11,12,34					NT	
27	ガケジグモ	ウスイロヤチグモ	11,12					DD	
28		ヤチグモ類	12					DD	
29	ハウシグモ	ドウシグモ	12				DD	DD	
30	アシダカグモ	カマスグモ	11,12					NT	
31	カニグモ	フノジグモ	11,12					NT	
32		カニグモ <sup>4</sup>	11					DD	
33		ヤミイロカニグモ <sup>4</sup>	11					DD	
34		アズマカニグモ <sup>4</sup>	11					DD	
35		チシマカニグモ <sup>4</sup>	11					DD	
36		ゾウシキカニグモ <sup>4</sup>	11,34					DD	
37		Xysticus 属の一種	11,12,34					DD	
38		ハエトリグモ	ヤガタアリグモ <sup>5</sup>	11,34					DD
39	ヤサアリグモ <sup>5</sup>		11					DD	
40	アリグモ <sup>5</sup>		11					DD	
41	クワガタアリグモ <sup>5</sup>		11,34					DD	
42	Myrmarachne 属の一種		11,12					DD	
43	オオクマアメイロハエトリ		12						NT
44	アオイトトンボ	オツネトンボ	8,13,15,16,25						VU
45	イトトンボ	ベニイトトンボ	16,25				NT		
46		オオイトトンボ	13,25						EN
47	モノサシトンボ	ゲンバイトンボ	8,15,16,25				NT		
48	カワトンボ	アオハダトンボ	16,25,28				NT		
49	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	16,25				NT		
50		アオヤンマ	13,25				NT		NT
51	サナエトンボ	キイロサナエ	8,13,16,25				NT		NT
52		ホンサナエ	8,13,16						CR
53		タベサナエ	8,16,25,28,33,35				NT		

表 4.1.5-7(2) 重要な動物種 (昆虫類・クモ類)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
54	サナエトンボ	フタスジサナエ	8				NT		
55		オグマサナエ	8, 15, 25				NT		
56	エゾトンボ	キイロヤマトンボ	8, 13, 16, 25, 33				NT		VU
57		ハネビロエゾトンボ	13, 16, 25				VU		EN
58		エゾトンボ	13, 16						VU
59	トンボ	ベッコウトンボ	13, 16, 25		国内		CR		CR
60	カマキリ	ウスバカマキリ	13				DD		NT
61	キジラミ	エノキカイガラキジラミ	16				NT		
62	サシガメ	ハリサシガメ	13				NT		VU
63	ハナカメムシ	ズイムシハナカメムシ	13				NT		NT
64	マキバサシガメ	キバネアシプトマキバサシガメ	11, 13, 16, 34						VU
65	ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	13				NT		VU
66	アメンボ	エサキアメンボ	13, 16				NT		VU
67	ミズムシ	ミゾナシミズムシ	16				NT		
68	コオイムシ	コオイムシ	16, 34				NT		
69		タガメ	2, 4, 13, 16		第二種		VU		CR
70	タイコウチ	ヒメミズカマキリ	13, 16						NT
71	ナベブタムシ	トゲナベブタムシ	13, 34				VU		EN
72	アシエダトビケラ	クチキトビケラ	16				NT		
73	イラガ	ベニイラガ	13						DD
74	マダラガ	エサキマダラ	13						NT
75	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	7, 8, 13, 15, 16, 34, 35				NT		NT
76	シジミチョウ	タイワンツバメシジミ本土亜種	13, 16				EN		CR
77		カラスシジミ	13, 15, 16, 18						NT
78		クロシジミ	13, 15, 16				EN		EN
79	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン	13, 16				VU		NT
80		オオウラギンヒョウモン	2, 4, 13, 16			指定	CR		EN
81		キマダラモドキ	13, 15, 16				NT		VU
82		ミスジチョウ	13, 16, 18						VU
83		ホシミスジ近畿地方以西亜種	2, 4, 13, 15						NT
84		シータテハ	2, 13, 16, 18						NT
85		オオムラサキ	2, 4, 7, 8, 13, 15, 16, 18, 29				NT		NT
86		ウラナミジャノメ本土亜種	13, 16				VU		NT
87	シロチョウ	ツマグロキチョウ	7, 11, 13, 15, 16				EN		NT
88	ヒトリガ	ヤネホソバ	16				NT		
89		シロホソバ	16				NT		
90	ヤガ	ウスズミケンモン	16				NT		
91		クビグロケンモン	16				NT		
92		コシロシタバ	7, 15, 16				NT		
93		ヌマベウスキヨトウ	13, 16				VU		NT
94		カギモンハナオイアツバ	16				NT		
95		キスジウスキヨトウ	13, 16				VU		NT
96		キシタアツバ	16				NT		
97		ミスジキリガ	16				NT		DD
98		ナカスジキヨトウ	11, 13, 16						DD
99		オオチャバネヨトウ	13, 16				VU		NT
100		ハナアブ	ベッコウハナアブ	16					

表 4.1.5-7(3) 重要な動物種 (昆虫類・クモ類)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
101	オサムシ	ヒトツメアオゴミムシ	13,16				NT		NT
102		オオサカアオゴミムシ	13,16				DD		NT
103		アオヘリアオゴミムシ	13,16				CR		CR
104		ツヤキベリアオゴミムシ	16				VU		
105		スナハラゴミムシ	13,16				VU		VU
106		キベリマルクビゴミムシ	13,16				EN		VU
107		オオトックリゴミムシ	13,16				NT		NT
108		オオヒラタトックリゴミムシ	13,16				CR		DD
109		ウミホソチビゴミムシ	13,15,16,34,35				NT		VU
110		イグチケブカゴミムシ	13,16				NT		DD
111		オオヒョウタンゴミムシ	13,15,16				NT		EN
112	ハンミョウ	ヨドシロヘリハンミョウ	8,11,13,16				VU		CR
113		カワラハンミョウ	13,16				EN		EX
114		アイヌハンミョウ	11,16				NT		
115	ルイスハンミョウ	8,13,16				EN		EN	
116	ゲンゴロウ	チャイロチビゲンゴロウ	11,13,16						NT
117		キボシケシゲンゴロウ	13,16				DD		NT
118		テラニシセスジゲンゴロウ	11,13,16						NT
119		コガタノゲンゴロウ	8,11,13,16,18,29,33,34,35				VU		NT
120		スジゲンゴロウ	13,16				EX		EX
121		シマゲンゴロウ	8,11,13,16,29				NT		NT
122		コマルケシゲンゴロウ	13,16				NT		NT
123		オオマルケシゲンゴロウ	13,16				NT		NT
124		ケシゲンゴロウ	13,16				NT		NT
125		キベリクロヒメゲンゴロウ	8,13,16				NT		NT
126		コウベツブゲンゴロウ	13				NT		NT
127		ルイスツブゲンゴロウ	13,16				VU		NT
128		シャープツブゲンゴロウ	13,16				NT		NT
129	マルチビゲンゴロウ	8,11,13,16,34				NT		NT	
130	キベリマメゲンゴロウ	8,13,16,34				NT		NT	
131	ミズスマシ	オオミズスマシ	13,16				NT		NT
132		ヒメミズスマシ	13				EN		EN
133		ミズスマシ	13,16				VU		NT
134		コオナガミズスマシ	13,16				VU		EN
135	コガシラミズムシ	キイロコガシラミズムシ	13				VU		NT
136		クビボソコガシラミズムシ	13,16,34,35				DD		NT
137	カワラゴミムシ	カワラゴミムシ	13,16						VU
138	ダルマガムシ	コセスジダルマガムシ	13,16						CR
139	ガムシ	クロシオガムシ	13,34,35				NT		EN
140		スジヒラタガムシ	11,16,34				NT		
141		コガムシ	16				DD		
142		ガムシ	13,16				NT		NT
143	ハネカクシ	オオツノハネカクシ	13				DD		NT
144		クシヒゲアリツカムシ	34				VU		
145		クロイソハネカクシ	16				DD		
146		オオズウミハネカクシ	16				EN		EN
147	ムネアカセンチコガネ	ムネアカセンチコガネ	13,16						NT
148	コガネムシ	クロモンマグソコガネ	13,16				NT		EN

表 4.1.5-7(4) 重要な動物種 (昆虫類・クモ類)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
149	コガネムシ	コカブトムシ	13,29						NT
150		ヒゲコガネ	11,13,15,16,34						NT
151	ヒメドロムシ	ヨコミゾドロムシ	34,35				VU		
152		クロサワドロムシ	13,16						NT
153		ゴトウミゾドロムシ	13,16						NT
154	タマムシ	サツマウバタマムシ	13,16						DD
155		クロマダラタマムシ	13,16						EN
156		クロチビタマムシ	13						NT
157	ジョウカイモドキ	イソジョウカイモドキ	13				DD		VU
158	ナガクチキムシ	クビアカナガクチキ	13						NT
159	カミキリムシ	アカアシオアオカミキリ	13,16						DD
160		イッシキキモンカミキリ	13,18,26						NT
161		エゾナガヒゲカミキリ	13						NT
162		ムラサキアオカミキリ	13,16,26						NT
163		ヨツボシカミキリ	13,16,26				EN		EN
164	ハムシ	イネネクイハムシ	13,16						NT
165	ヤドリキバチ	トサヤドリキバチ	16				DD		
166	アリ	トゲアリ	16				VU		
167	スズメバチ	ヤマトアシナガバチ	11,16,34				DD		
168	クモバチ	アオスジクモバチ	16,34				DD		
169	ミツバチ	クロマルハナバチ	16						NT
170	ハキリバチ	キバラハキリバチ	16,34						NT
合計 67科 170種				0種	2種	1種	100種	42種	96種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

- 1: マシラグモ類は分類体系が変化し、準拠リストにも Leptoneta 属は記載されておらず、該当する種群が不明のため、表記は出典に準じました。
- 2: RDB おおいた 2011 の Nematogmus 属の一種のため抽出
- 3: RDB おおいた 2011 の Ummeliata 属の一種のため抽出
- 4: RDB おおいた 2011 の Xysticus 属の一種のため抽出
- 5: RDB おおいた 2011 の Myrmarachne 属の一種のため抽出

出典: 2) 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査」(昭和56年3月、環境庁)

4) 「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)

7) 「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

8) 「第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査」(平成13年10月~平成14年3月、環境省自然環境局生物多様性センター)

11) 「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

12) 「レッドデータブックおおいた 2011」(平成23年、大分県)

13) 「レッドデータブックおおいた 2022」(令和4年3月、大分県)

15) 「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16) 「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

18) 「生物多様性ぶんごおおの戦略」(平成29年6月、豊後大野市)

25) 「大分県のトンボ」(平成19年10月、九州トンボ談話会)

26) 「大分県のカミキリムシ」(平成21年11月、昆虫文献 六本脚)

28) 「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

29) 「豊後大野市自然図鑑」(平成25年3月、豊後大野市自然史友の会)

32) 「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

33) 「平成31年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務報告書」(令和2年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34) 「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35) 「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-8(1) 重要な動物種(底生動物)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
1	イシガイ	マツカサガイ広域分布種	16				NT		NT
2	ウロコガイ	ニッポンマメアゲマキ	16				NT		
3	ガンツキ	ガタツキ	35				DD		
4	カワホトトギス	マゴコロガイ	16				NT		
5	ニッコウガイ	テリザクラ	35				VU		
6		ユウシオガイ	16,22,34,35				NT		
7	シオサザナミ	オチバガイ	16,34,35				NT		
8		ハザクラ	16,35				NT		
9	チドリマスオ	クチバガイ	16,35				NT		
10	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	16,31,33,34				NT		
11	マルスダレガイ	ハマグリ	35				VU		
12	シジミ	ヤマトシジミ	7,15,16,22,34				NT		
13		マシジミ	7,16,22,28				VU		
14	ハナゲモリ	ハナゲモリ	16				VU		
15	ユキノカサガイ	ツボミ	16				NT		
16	アマオブネガイ	ヒロクチカノコ	11,16,32,33,34,35				NT		EN
17	ユキスズメガイ	ミヤコドリガイ	31,34,35				NT		CR
18	タニシ	マルタニシ	7,13,16,24				VU		NT
19		オオタニシ	7,13,15,16,22,24				NT		NT
20	オニノツノガイ	コゲツノブエ	35				VU		
21	ウミニナ	ウミニナ	16,31,33,34,35				NT		
22		イボウミニナ	16				VU		VU
23	キバウミニナ	フトヘナタリ	16,31,32,33,34,35				NT		
24		シマヘナタリ	16,35				CR+EN		
25		クロヘナタリ	35				CR+EN		
26		ヘナタリ	15,31,35				NT		
27		カワアイ	35				VU		
28	トゲカワニナ	タケノコカワニナ	13,15,16,32,33,34,35				VU		CR
29	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	16,34,35				NT		
30		ツブカワザンショウ	13,16				NT		EN
31		ムシヤドリカワザンショウ	11,13,16,31				NT		VU
32		ヒナタムシヤドリカワザンショウ	34,35				NT		
33		ヨシダカワザンショウ	13,16,34,35				NT		EN
34	エゾマメタニシ	ヒメマルマメタニシ	7,13,16,24				VU		VU
35		マメタニシ	13				CR		DD
36	ミズツボ	アキヨシミジンツボ	13				VU		VU
37	ワカウラツボ	カワグチツボ	13,16				NT		NT
38	ミズゴマツボ	エドガワミズゴマツボ	16,35				NT		
39		オンセンミズゴマツボ	16			指定	CR+EN		CR
40	クダタマガイ	コメツブツラガイ	35				VU		
41		コヤスツラガイ	16,35				NT		
42	トウガタガイ	シゲヤスイトカケギリ	16,35				NT		
43		ヌカルミクチキレ	16				NT		
44	モノアラガイ	モノアラガイ	7,16,22,33,34,35				NT		
45	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	11				NT		NT
46	カワコザラガイ	カワコザラガイ	16				CR		
47	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	7,16,34				DD		
48		クルマヒラマキガイ	7,13,16,34				VU		VU
49		ヒラマキガイモドキ	7,16,22				NT		
50	オカミミガイ	ナラビオカミミガイ	32,34,35				VU		EN
51		オカミミガイ	13,16,31,32,33,35				VU		EN

表 4.1.5-8(2) 重要な動物種 (底生動物)

番号	科名	種名	出典	選定基準					
52	オカミミガイ	マクスジコミミガイ	16				NT		
53		クリイロコミミガイ	35				VU		EN
54		キヌカツギハマシイノミガイ	13,16,31,35				VU		EN
55	イソアワモチ	センベシアワモチ	31,35				CR+EN		EN
56	カプトエビ	カプトエビ種群	13						DD
57	スナホリムシ	ヒガタスナホリムシ	35				NT		
58	ケブカガニ	マキトラノオガニ	11,13,34,35						DD
59	ワタリガニ	アカテノコギリガザミ	13					DD	NT
60		トゲノコギリガザミ	13						NT
61		アミメノコギリガザミ	13						NT
62	ベンケイガニ	ウモレベンケイガニ	35					VU	VU
63		ユビアカベンケイガニ	34,35					NT	
64		ベンケイガニ	34,35					NT	
65	モクズガニ	ハマガニ	13,32,33,34,35					NT	NT
66		ヒメアシハラガニ	35					NT	
67		トゲアシヒライソガニ	13						VU
68		ヒメヒライソモドキ	13					NT	NT
69		タイワンヒライソモドキ	13,34					NT	NT
70	ムツハアリアケガニ	アリアケモドキ	11,13,22,31,32,33,34,35						NT
71		カワスナガニ	13				NT		NT
72	オサガニ	チゴイワガニ	33						DD
73		オサガニ	13,35					NT	VU
74		ヒメヤマトオサガニ	35					NT	
75	スナガニ	ハクセンシオマネキ	13,15,31,32,34,35				VU		NT
76		シオマネキ	13,35			指定	VU		EN
77	ヒトリガカゲロウ	ヒトリガカゲロウ	22				NT		
78	サナエトンボ	ホンサナエ	11						CR
79		タベサナエ	11,33,34,35				NT		
合計 43科 79種				0種	0種	2種	61種	10種	39種

注1) 種名及びその記載順序は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度生物リスト)」(令和7年、国土交通省)に基づき記載しています。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典: 7)「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

11)「河川水辺の国勢調査 河川環境データベース」(令和7年12月現在、国土交通省)

13)「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

15)「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

22)「大分生物談話会会誌 第6号 大分市中部地域の自然」(平成10年3月、大分生物談話会)

24)「大分生物談話会会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかかわり」(令和2年5月、大分生物談話会)

28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

31)「平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務報告書」(平成27年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

32)「平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務報告書」(平成31年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

33)「平成31年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務報告書」(令和2年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

34)「令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務報告書」(令和3年2月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

35)「令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務報告書」(令和5年3月、国土交通省九州地方整備局 大分河川国道事務所)

表 4.1.5-9 重要な動物種(陸産貝類)

番号	科名	種名	出典	選定基準				
1	ゴマオカタニシ	ゴマオカタニシ	13,27				NT	NT
2		ベニゴマオカタニシ	13,27				VU	VU
3	ヤマタニシ	サドヤマトガイ	27				NT	
4	ムシオイガイ	タカチホムシオイ	13				CR+EN	CR
5		サツمامシオイガイ	13,16,27				NT	NT
6		オナガラムシオイガイ	13,27			指定	CR+EN	EN
7		ハブタエムシオイ	13			指定		EN
8	カワザンショウガイ	ホラアナゴマオカチグサガイ	27				CR+EN	
9	ケシガイ	ケシガイ	27				NT	
10	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ	7,16				DD	
11	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	7,13,16				NT	NT
12	キバサナギガイ	クチマガリスナガイ	13,27				VU	VU
13		キバサナギガイ	27				CR+EN	
14		ヤマトキバサナギガイ	27				VU	
15	キセルガイ	キュウシュウナミコギセル	13,16,27					NT
16		ピントノミギセル	13					DD
17		ホウヨギセル	13,27				NT	NT
18		カタギセル	16				NT	VU
19		オキモドキギセル	13,16,27				NT	NT
20		ヒメシロギセル	13,27				CR+EN	CR
21		ヒロクチコギセル	13,27				CR+EN	VU
22		ホソヒメギセル	7,16,27				VU	
23		カワモトギセル	13,27				VU	NT
24		アラナミギセル	16					CR
25		ピルスブリギセル	13,16				NT	NT
26	オオコウラナメクジ	オオコウラナメクジ	16,27				NT	
27	ベッコウマイマイ	ヒラベッコウガイ	7,16,27				DD	
28		テラマチベッコウ	13,16				NT	NT
29		カドヒメベッコウ	16,27				DD	
30		キヌツヤベッコウ	13				DD	DD
31		タカハシベッコウ	16				CR+EN	DD
32		レンズガイ	7,16,27				VU	
33		ヒゼンキビ	7,16,27				NT	
34		ヒメハリマキビ	27				NT	
35		ウメムラシタラガイ	7,16,27				NT	
36		オオウエキビ	13,16,27				DD	DD
37		タカキビ	27				NT	
38		ヒメカサキビ	16,27				NT	
39	ニッポンマイマイ	オオウスピロウドマイマイ	16				VU	NT
40	オナジマイマイ	カンダマイマイ	13,27				CR+EN	EN
13科40種				0種	0種	2種	36種	24種

注1) 種名及び分類は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編 3」(平成10年、環境庁)に準じました。

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典: 7) 「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査」(平成5年3月、環境庁自然保護局)

13) 「レッドデータブックおおいた2022」(令和4年3月、大分県)

16) 「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)

27) 「大分県陸産貝類誌」(平成4年3月、神田正人)

表 4.1.5-10(1) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種

分類	番号	種名	位置番号	出典	選定基準							
哺乳類	1	サイゴクジネズミ	21,22,23	15							NT	
	2	コキクガシラコウモリ	11,13,15,17,19	15							NT	
	3	ヤマコウモリ	24,25,26	15				VU			DD	
	4	ユビナガコウモリ	12,14,16,18,20	15							NT	
	5	ムササビ	3,4,5,6,7,8,9,10	15							NT	
	6	カヤネズミ	1,2,27	15							NT	
			28	16								
鳥類	1	ヤマドリ	11,27,58,82,95	15				NT			NT	
	2	オシドリ	9	10				DD			NT	
			12,44,59	15								
	3	トモエガモ	10	10				VU			VU	
	4	ヨシゴイ	28,45	15				NT			EN	
	5	チュウサギ	1	10				NT			NT	
			46	15								
	6	クロサギ	47	15							NT	
	7	ヒクイナ	2	10								
			13,48	15				NT			VU	
			113	28								
	8	ジュウイチ	60	15							VU	
	9	ヨタカ	14,29,61	15				NT			EN	
	10	アマツバメ	49,62	15							NT	
	11	コチドリ	50,89	15							NT	
	12	シロチドリ	51,90	15				VU			VU	
	13	コアジサシ	52,91	15				VU			CR	
	14	ミサゴ	15,53,63,76,81,92	15					NT			NT
			116	16								
	15	ハチクマ	16,64,83,96	15				NT			NT	
	16	チュウヒ	17	15		国内		EN			EN	
	17	ツミ	30,65	15							VU	
	18	ハイタカ	8	10								
			18,31,66,93,102	15				NT			NT	
	19	オオタカ	19,32,54,77,103	15				NT			VU	
	20	サシバ	33,55,67,84,97	15				VU			VU	
	21	ノスリ	3,7	10								
			68,98	15							NT	
			114	28								
	22	クマタカ	34,69,99	15		国内		EN			EN	
23	コノハズク	35	15							VU		
24	フクロウ	20,36,70	15								VU	
		111	28									
25	アオバズク	21,37,78,85,104	15							VU		
26	アカショウビン	38	15							VU		
27	ヤマセミ	79,86	15							NT		
28	ハヤブサ	22,56,80,94	15								VU	
		115	28		国内		VU			VU		
29	サンショウクイ	23,39,71,87,105	15				VU			EN		
30	サンコウチョウ	24,40,72,88,100,106	15							NT		

表 4.1.5-10(2) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種

分類	番号	種名	位置番号	出典	選定基準							
鳥類	31	チゴモズ	41	15				CR			CR	
	32	メボソムシクイ	107	15							VU	
	33	キバシリ	73	15							NT	
	34	トラツグミ	4,6	10							NT	
	35	クロツグミ	42,74,101	15							NT	
	36	コマドリ	25,108	15							VU	
	37	コルリ	109	15							VU	
	38	キビタキ	5	10								
			26,43,75,110	15								NT
			112	28								
39	ホオアカ	57	15							NT		
爬虫類	1	ニホンイシガメ	3	28								
			4,5,8	15				NT			VU	
			13,14,15,16,17,18,19	24								
	2	ニホンスッポン	1	28								
			9,10,11,12,20	24				DD				DD
	3	ジムグリ	21	24							NT	
	4	シロマダラ	2	28								NT
			6	15								
	5	ヒバカリ	7	15								NT
			22	24								
両生類	1	オオイタサンショウウオ	1	1								
			2	4								
			3~27	22								
			28~35	23								
			40~42,45,46,48,51	15								
	53	28										
	2	アカハライモリ	36	23								
			39,43,47,49	15					NT			
	3	ニホンヒキガエル	37	23								
			38	16								NT
44,50,52			15									
魚類	1	ミナミスナヤツメ	5	3								
			34	24					VU			EN
	2	ニホンウナギ	6	3								
			14,19~21	5								
			22,26,30	22								EN
			35	24								
			39	15								
	44~46	19										
	3	キンブナ	7	3							VU	
	4	オオキンブナ	37	24								DD
	5	ニッポンバラタナゴ	8	3							CR	DD
	6	ドジョウ	9	3								
			15	5								
27,29			22									
36			24								NT	
38			16									
42	28											
7	ヤマトシマドジョウ	24,28,32	22							VU	NT	
8	ギバチ	10	3									
		16	5								VU	
9	イトヨ	1	4								EX	

表 4.1.5-10(3) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種

分類	番号	種名	位置番号	出典	選定基準						
魚類	10	ミナミメダカ	11	3							
			17	5							
			23,25,31,33	22				VU			
			40,41	15							
			43	28							
	11	カマキリ	2~4	4							
			12,13	3				VU			
			18	5							
	昆虫類・クモ類	1	キムラグモ類	1	16				VU		LP
		2	オツネトンボ	8	15						VU
3		ゲンバイトンボ	11	15				NT			
4		アオハダトンボ	27	28				NT			
5		タバサナエ	28	28				NT			
6		オグマサナエ	9	15				NT			
7		コオイムシ	5	16				NT			
8		タガメ	3,29	4		第二種		VU		CR	
9		ギンイチモンジセセリ	19,21,23,25	15				NT		NT	
10		カラスシジミ	12	15						NT	
11		クロシジミ	13	15				EN		EN	
12		オオウラギンヒョウモン	4	4			指定	CR		EN	
13		キマダラモドキ	14	15				NT		VU	
14		ホシミスジ近畿地方以西亜種	2	4							NT
			15	15							
15		オオムラサキ	10,16	15				NT			NT
			30,31	4							
16		ツマグロキチョウ	17	15				EN		NT	
17		コシロシタバ	18	15				NT			
18		ウミホソチビゴミムシ	24	15				NT		VU	
19		オオヒョウタンゴミムシ	26	15				NT		EN	
20		コガタノゲンゴロウ	6	16				VU		NT	
21	スジヒラタガムシ	7	16				NT				
22	ヒゲコガネ	20,22	15						NT		
底生動物	1	マルタニシ	19	16				VU		NT	
	2	オオタニシ	3	15				NT		NT	
			12	22							
	3	タケノコカワニナ	2	15				VU		CR	
	4	モノアラガイ	9	22				NT			
	5	ヒラマキガイモドキ	7	22				NT			
	6	ヤマトシジミ	5	15				NT			
			10,13,15,18	22							
	7	マシジミ	1	28				VU			
			6,8	22							
	8	ユウシオガイ	16	22				NT			
9	アリアケモドキ	14,17	22						NT		
10	ハクセンシオマネキ	4	15				VU		NT		
11	ヒトリガカゲロウ	11	22				NT				

注1) 表中の番号は図 4.1.5-1 に対応

注2) 表中の選定基準は表 4.1.5-1 に対応

出典: 1) 「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)

3) 「第2回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和56年3月、環境庁)

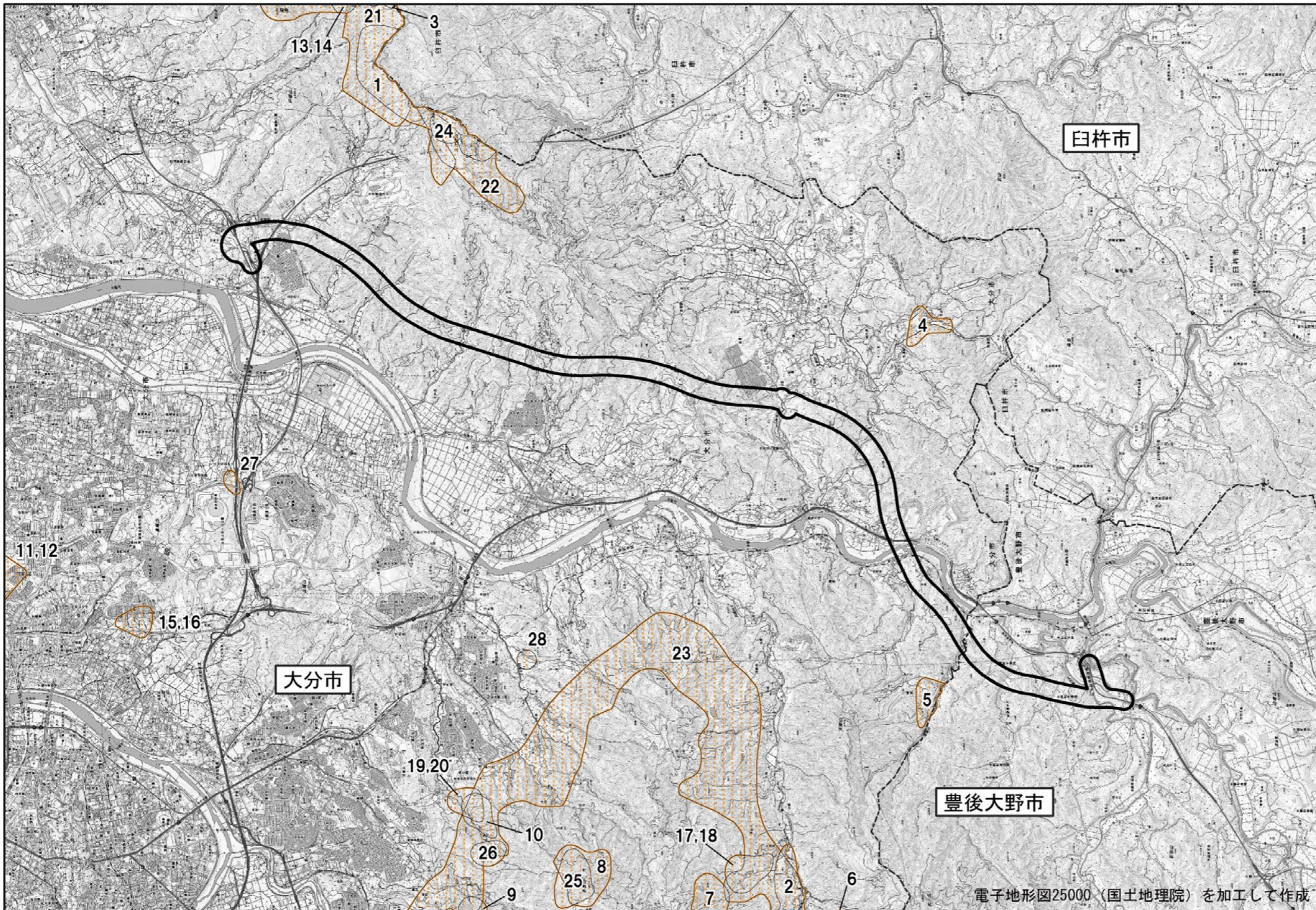
4) 「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)

5) 「第3回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和62年3月、環境庁)




10) 「モニタリングサイト1000」(令和7年12月現在、環境省自然環境局生物多様性センター)

15) 「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)

- 16)「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)
- 19)「大分自然博物誌 プンゴエンス 第2巻」(平成29年4月、大分自然環境研究発表会)
- 22)「大分生物談話会会誌 第6号 大分市中部地域の自然」(平成10年3月、大分生物談話会)
- 23)「大分生物談話会会誌 第7号 大分市東部地域の自然」(平成14年6月、大分生物談話会)
- 24)「大分生物談話会会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかかわり」(令和2年5月、大分生物談話会)
- 28)「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)



凡例

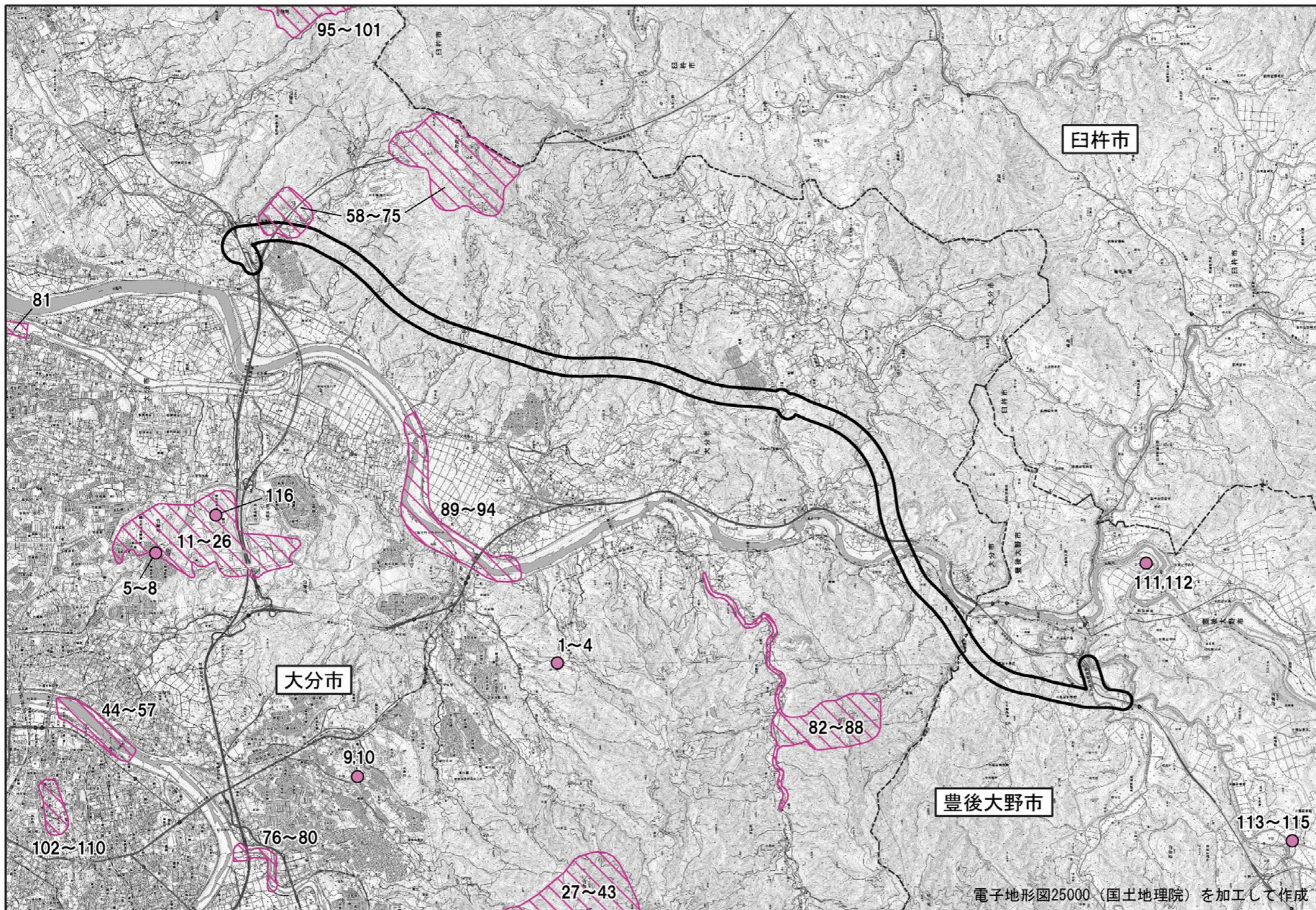
-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  哺乳類

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



注) 図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典: 「大分市自然環境調査報告書」(平成 19 年 2 月、大分市)  
 「大分市自然環境調査報告書 2016 年版」(平成 29 年 3 月、大分市)

図 4.1.5-1(1) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図(哺乳類)



凡例

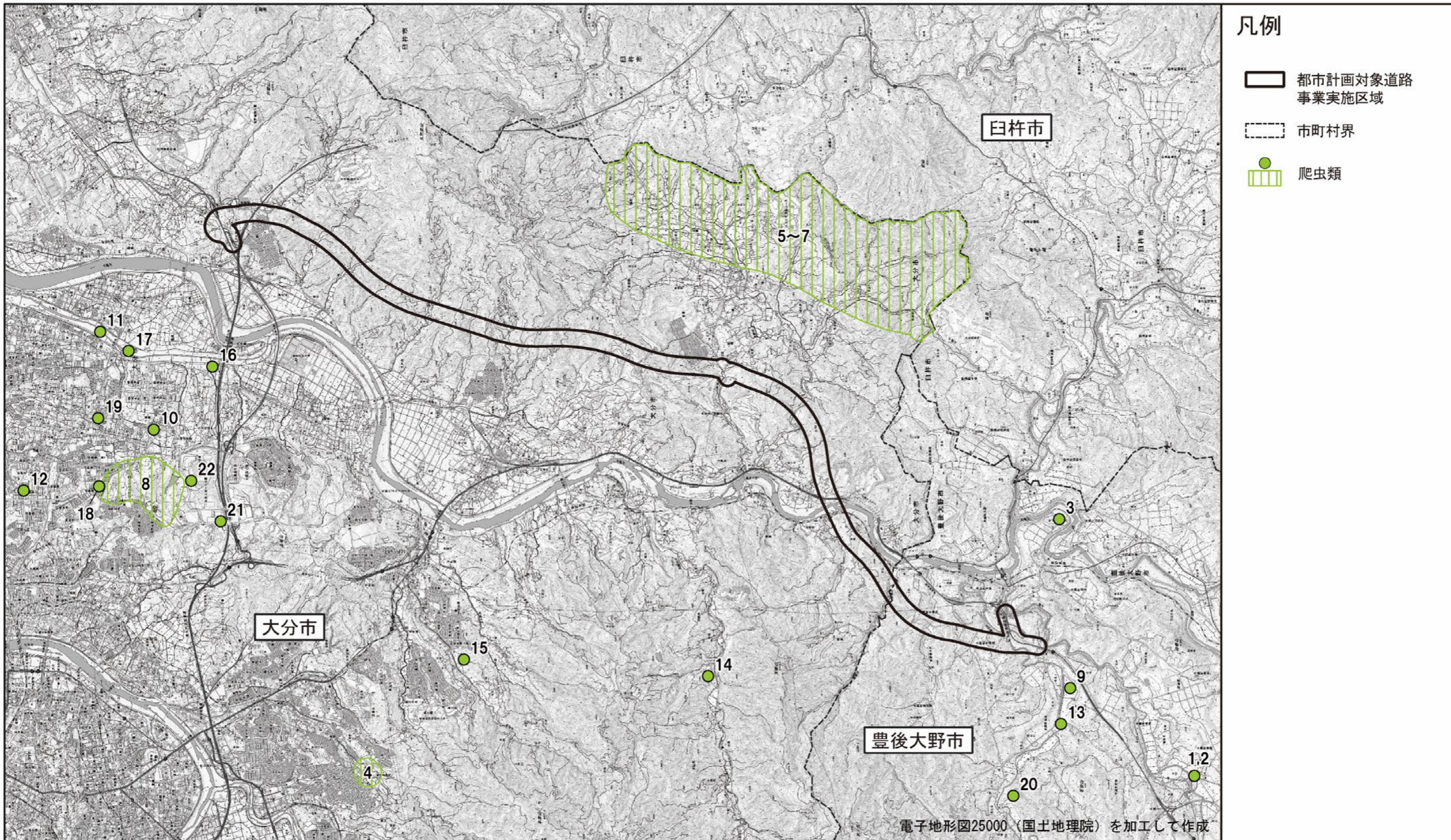
-  都市計画対象道路  
事業実施区域
-  市町村界
-  鳥類

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



注) 図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典: 「モニタリングサイト 1000」(令和 7 年 12 月現在、環境省自然環境局生物多様性センター)  
 「大分市自然環境調査報告書」(平成 19 年 2 月、大分市)  
 「大分市自然環境調査報告書 2016 年版」(平成 29 年 3 月、大分市)  
 「豊後大野市の自然 第 2 回会誌 合同調査報告書」(令和 2 年 12 月、豊後大野市自然史友の会)

図 4.1.5-1(2) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図(鳥類)



凡例

-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  爬虫類

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

注）図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典：「大分市自然環境調査報告書」（平成 19 年 2 月、大分市）  
 「大分生物談話会会誌 第 12 号 大野川流域の自然と人のかかわり」（令和 2 年 5 月、大分生物談話会）  
 「豊後大野市の自然 第 2 回会誌 合同調査報告書」（令和 2 年 12 月、豊後大野市自然史友の会）



図 4.1.5-1(3) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図（爬虫類）

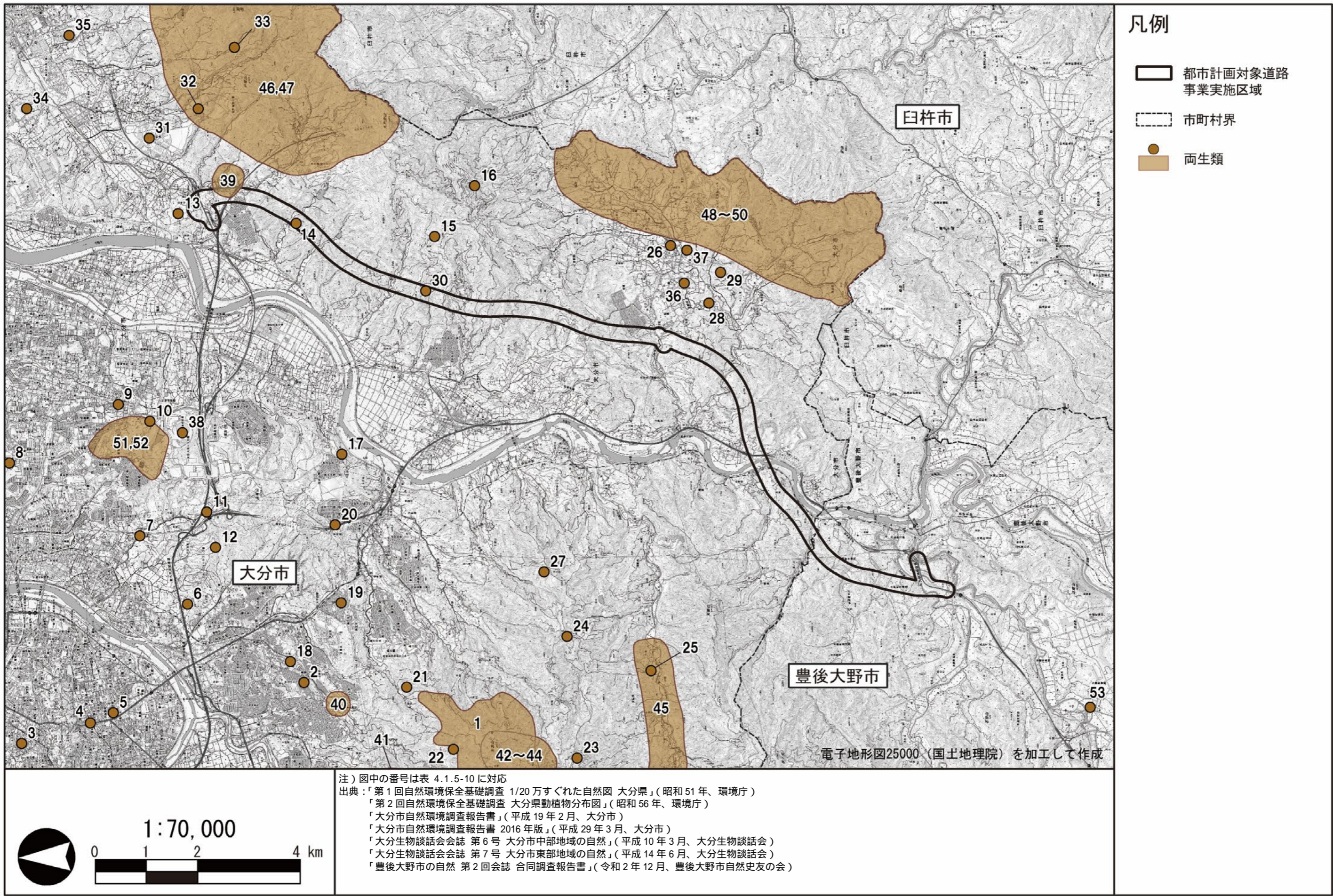
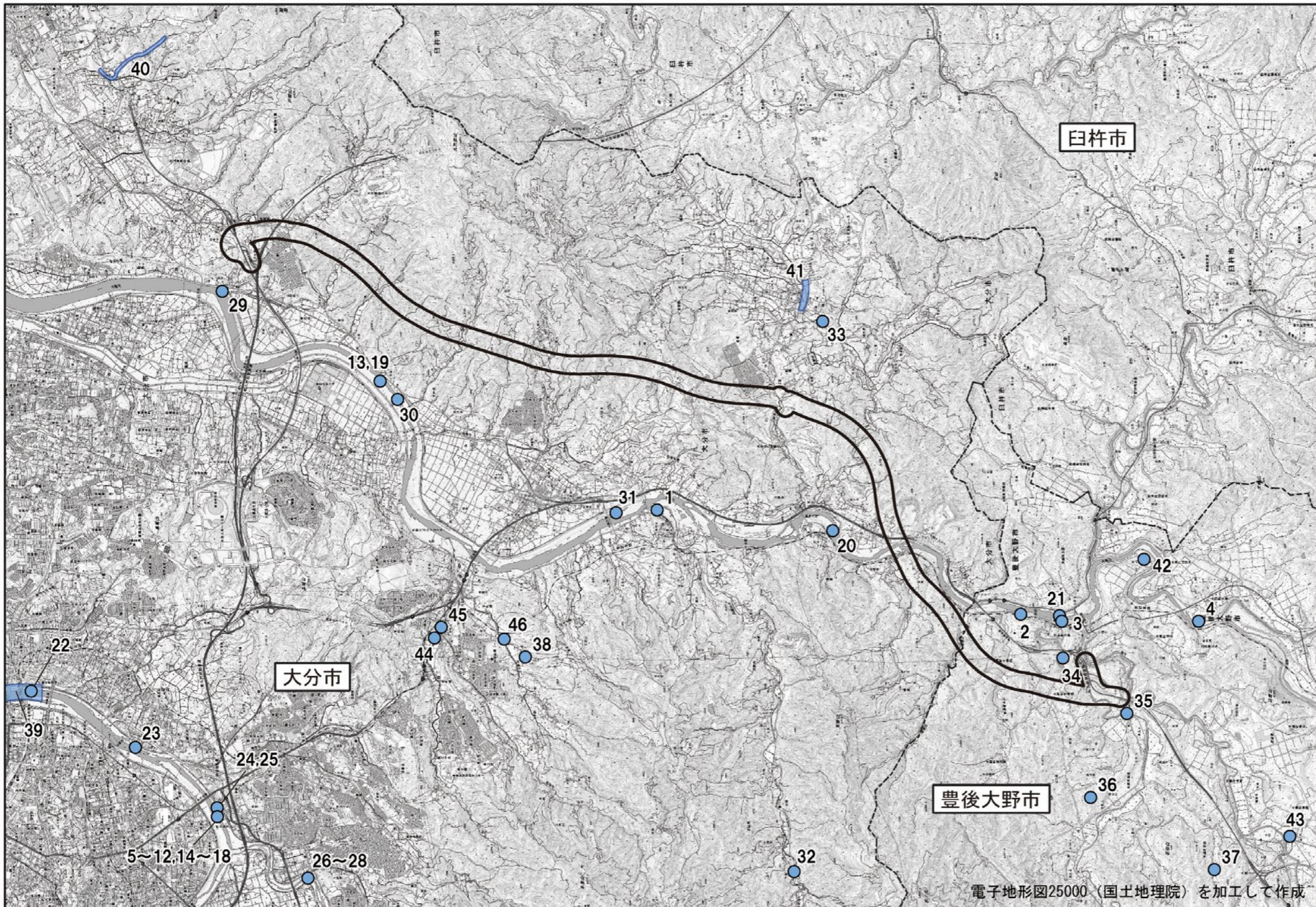





図 4.1.5-1(4) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図（両生類）



凡例

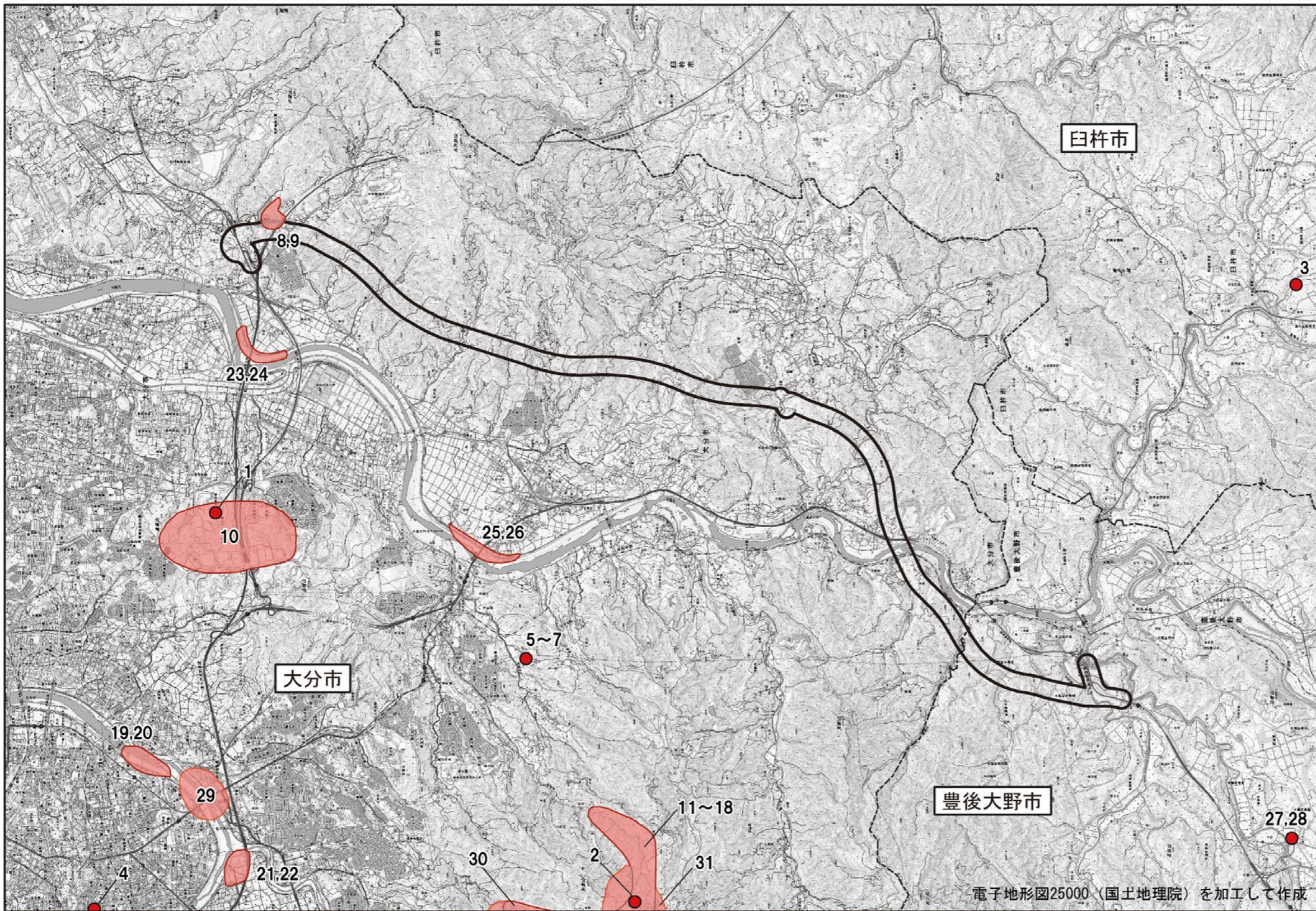
-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  魚類

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



注) 図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典: 「第2回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和56年3月、環境庁)、「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)、「第3回自然環境保全基礎調査 河川調査」(昭和62年3月、環境庁)、「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)、「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)、「大分自然博物誌 プンゴエンシス 第2巻」(平成29年4月、大分自然環境研究発表会)、「大分生物談話会誌 第6号 大分市中部地域の自然」(平成10年3月、大分生物談話会)、「大分生物談話会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかわり」(令和2年5月、大分生物談話会)、「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

図 4.1.5-1(5) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図(魚類)



凡例

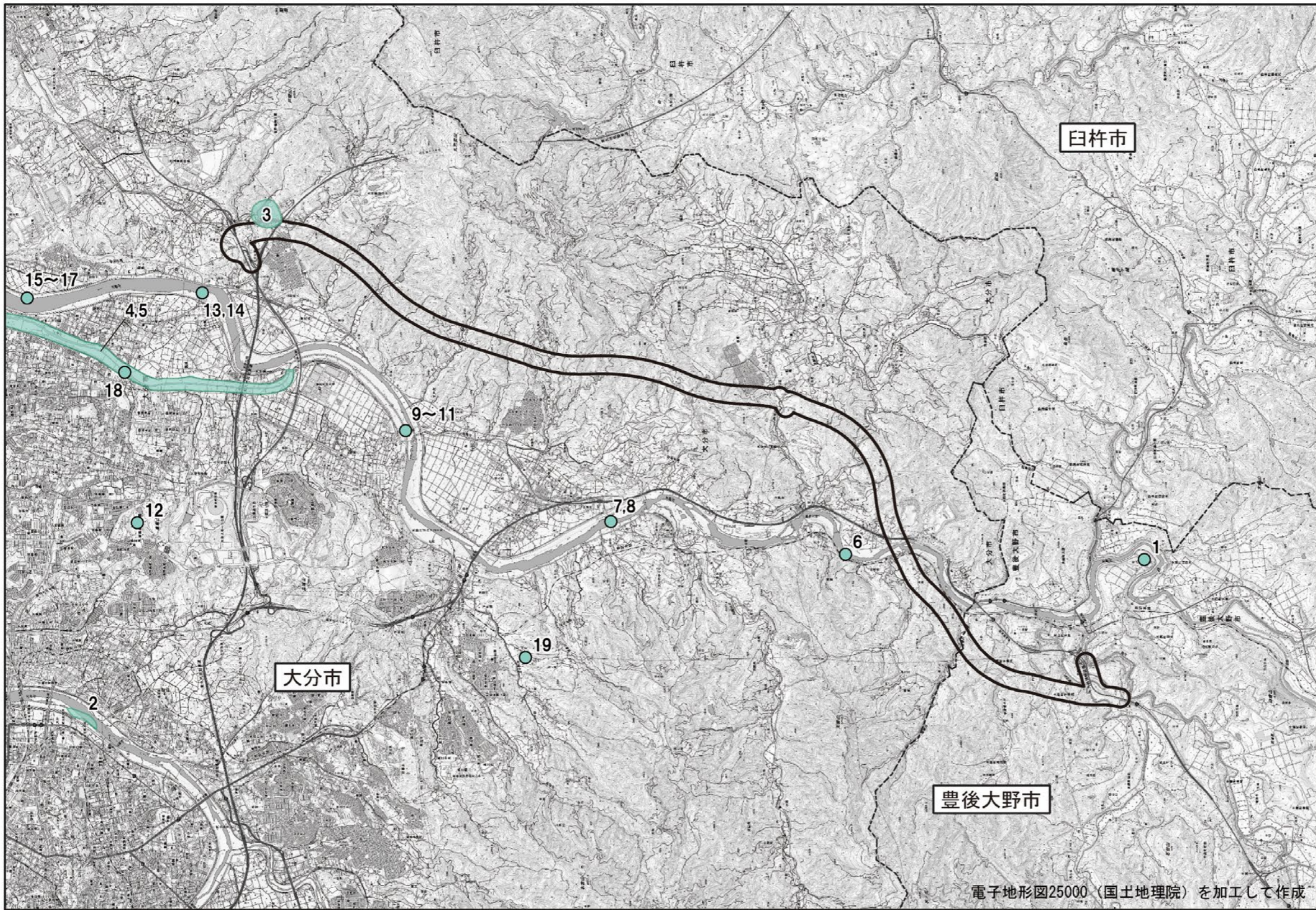
- 都市計画対象道路  
事業実施区域
- 市町村界
- 昆虫・クモ類

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



注) 図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典: 「第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)  
 「大分市自然環境調査報告書」(平成19年2月、大分市)  
 「大分市自然環境調査報告書 2016年版」(平成29年3月、大分市)  
 「豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書」(令和2年12月、豊後大野市自然史友の会)

図 4.1.5-1(6) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図(昆虫類・クモ類)



凡例

-  都市計画対象道路  
事業実施区域
-  市町村界
-  底生動物

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

注) 図中の番号は表 4.1.5-10 に対応  
 出典: 「大分市自然環境調査報告書」(平成 19 年 2 月、大分市)  
 「大分市自然環境調査報告書 2016 年版」(平成 29 年 3 月、大分市)  
 「大分生物談話会誌 第 6 号 大分市中部地域の自然」(平成 10 年 3 月、大分生物談話会)  
 「豊後大野市の自然 第 2 回会誌 合同調査報告書」(令和 2 年 12 月、豊後大野市自然史友の会)

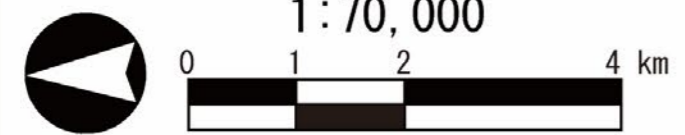


図 4.1.5-1(7) 既存資料で位置が確認できた重要な動物種位置図(底生動物)

#### 注目すべき生息地の状況

調査区域における注目すべき生息地の状況は表 4.1.5-11 及び、図 4.1.5-2 に示すとおりです。

調査区域には「日本の重要湿地 500」(環境省)で選定されている重要湿地として、オシドリの渡来地である「松岡および敷戸のため池群」があります。

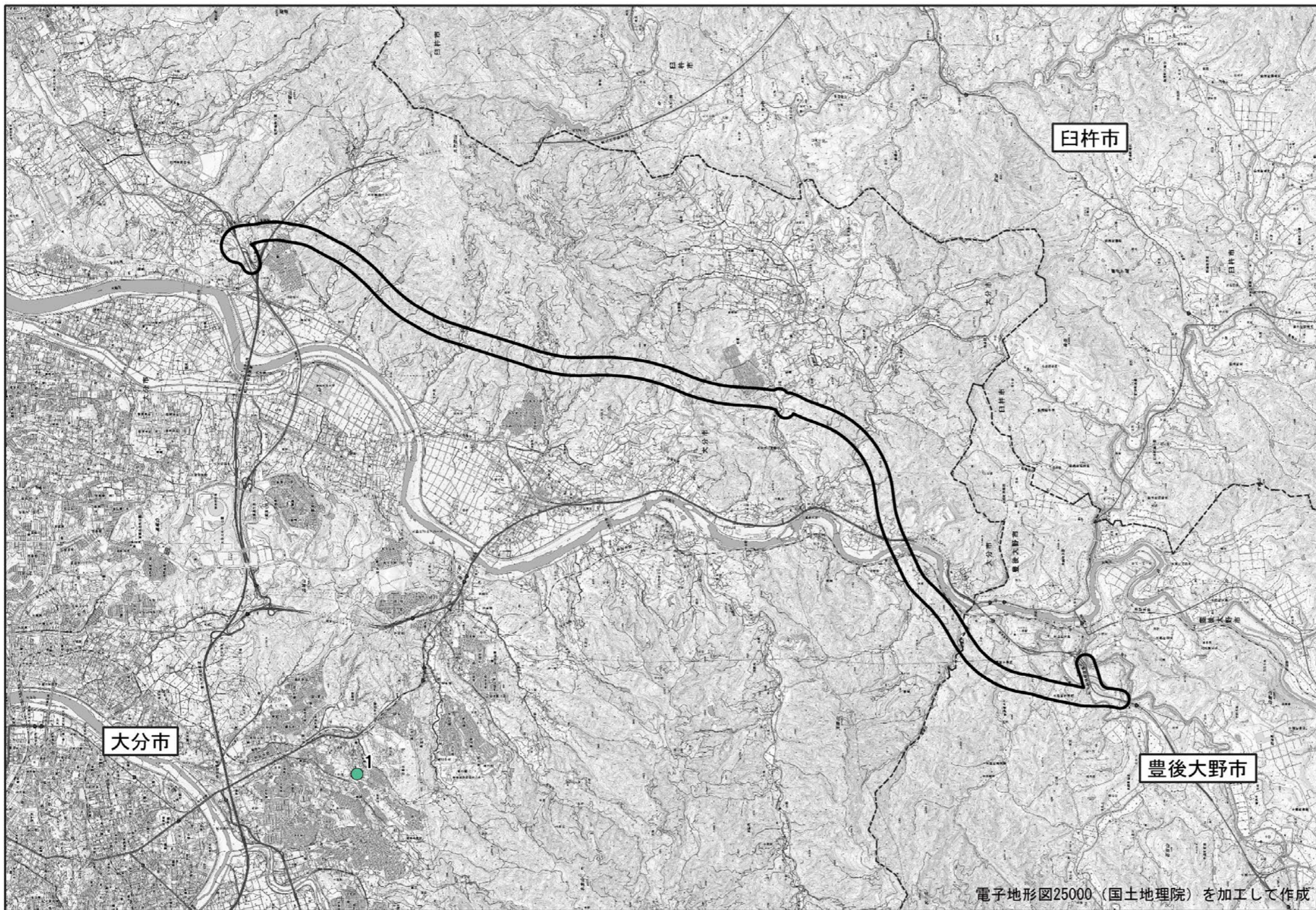
なお、調査区域には、「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号)ならびに県、関係市の文化財保護に関する条例、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(昭和 55 年 9 月 22 日条約第 28 号及び外務省告示第 327 号、最終改正：平成 6 年 4 月 29 日条約第 1 号及び外務省告示第 209 号)「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律【生息地保護区】」(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号)「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(平成 4 年 9 月 28 日条約第 7 号)「生物多様性保全上重要な里地里山」(令和 7 年 12 月現在、環境省自然環境局自然環境計画課ホームページ)で指定されている生息地はありません。また、「自然環境情報図(第 4 回自然環境保全基礎調査)【鳥類の集団繁殖地及び集団ねぐら】」(平成 7 年、環境庁)「シギ・チドリ類渡来湿地目録」(平成 9 年 9 月、環境庁)「重要野鳥生息地(IBA)の保護指定状況」(令和 7 年 12 月現在、日本野鳥の会)に記載されている生息地はありません。

表 4.1.5-11 注目すべき生息地




番号	名称	概要
1	松岡および敷戸のため池群	オシドリの渡来地

注) 表中の番号は図 4.1.5-2 に対応

出典：「環境省 HP / 生物多様性の観点から重要度の高い湿地」(令和 7 年 12 月現在、環境省自然環境局自然環境計画課)



凡例

-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  注目すべき生息地

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

出典：「環境省HP／生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（令和7年12月現在、環境省自然環境局自然環境計画課）  
 「モニタリングサイト1000 ガンカモ類調査データ」（令和7年12月現在、環境省自然環境保全センター）

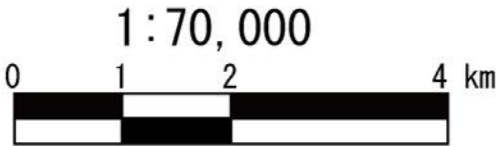


図 4.1.5-2 注目すべき生息地

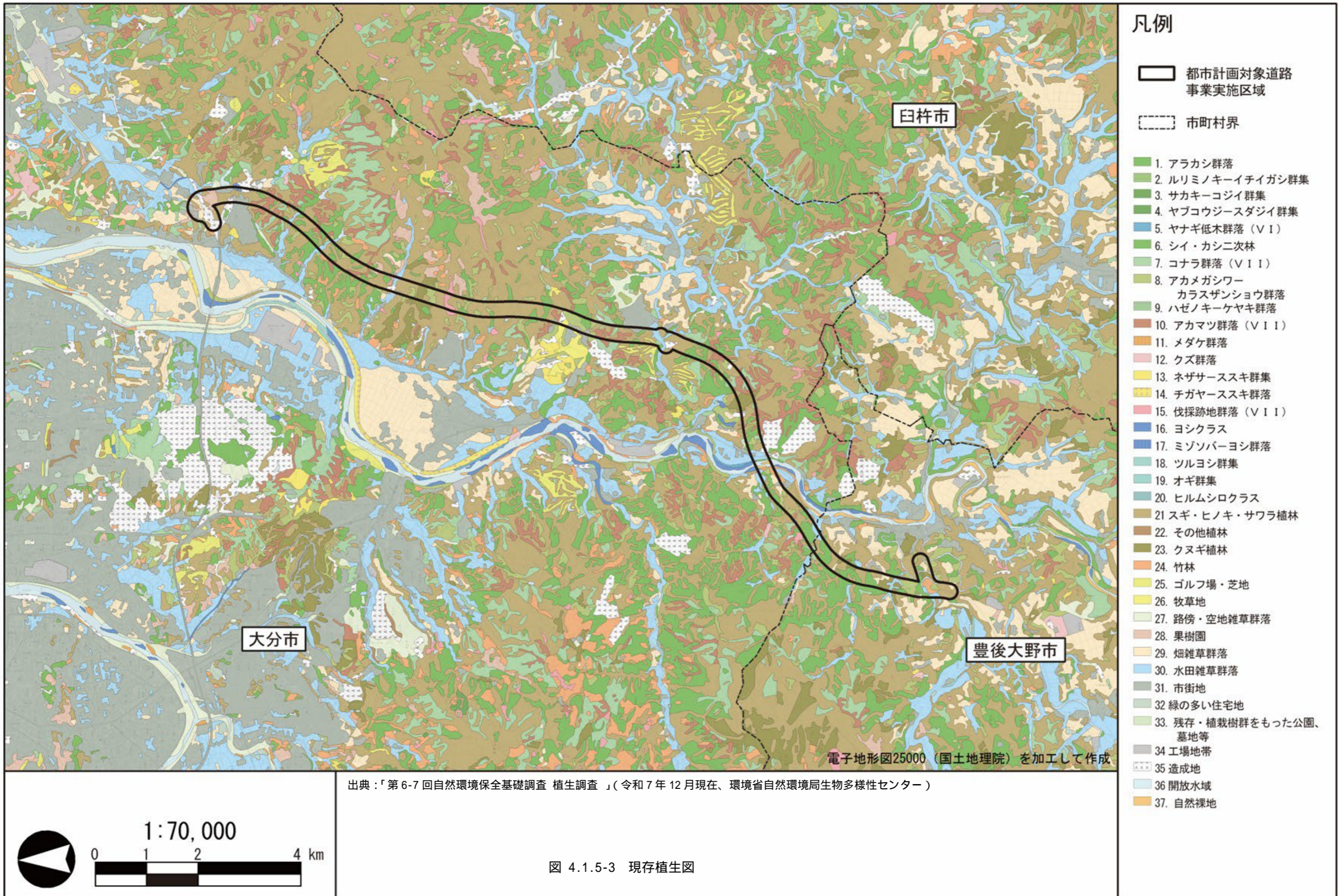
## 2) 植物の生育の状況、重要な種及び群落の状況

### (1) 植物の状況

#### 現存植生

調査区域の現存植生は図 4.1.5-3 に示すとおりです。

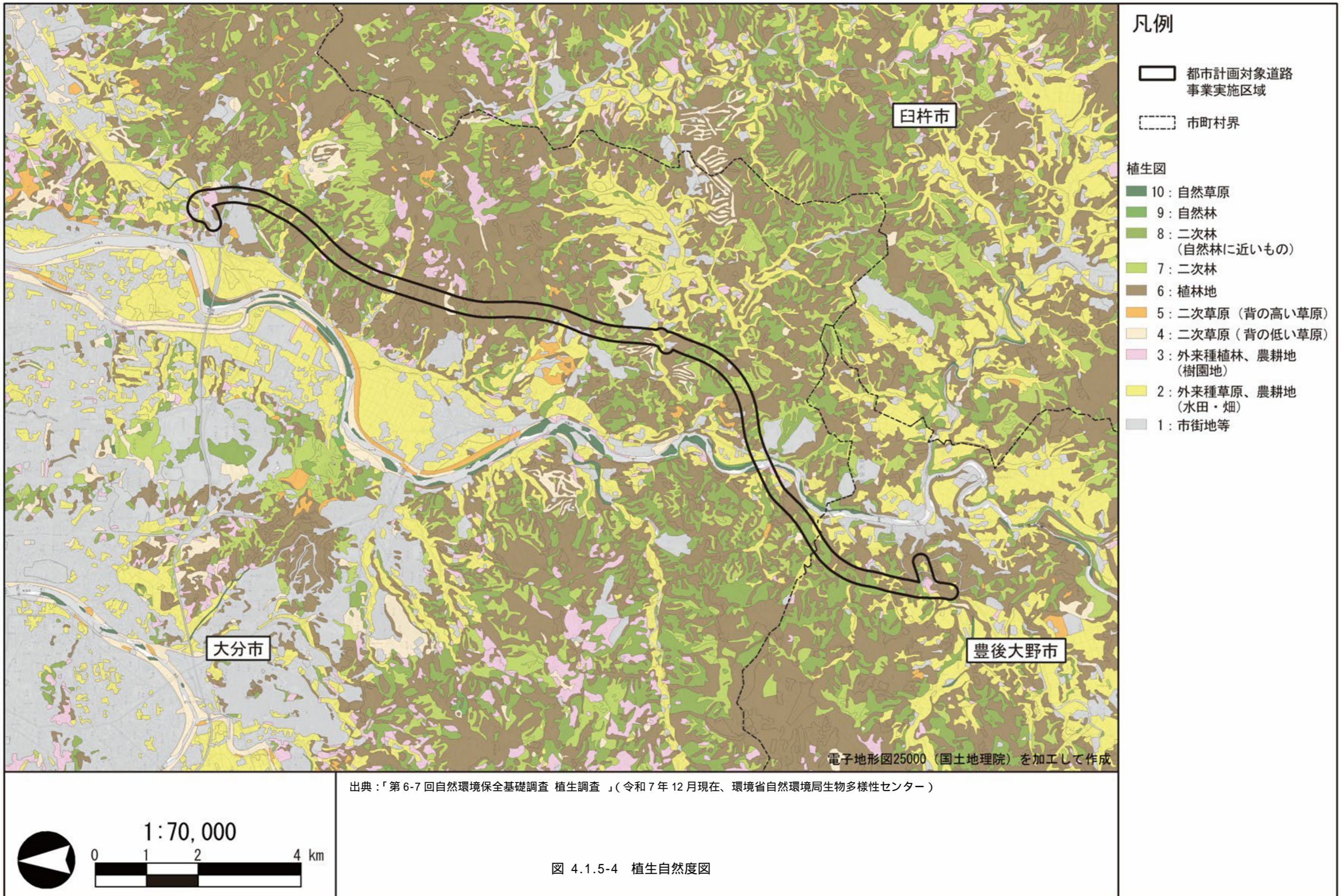
調査区域は、北側から平地、山地が連続しており、山地では主に常緑針葉樹林、落葉広葉樹林、常緑広葉樹林が広く分布しています。平地では耕作地や市街地が広く分布し、開放水面が点在しています。水域としては、大野川、大分川、乙津川等の河川が流れており、河川周辺にはヨシクラス等の湿原植生がみられます。



## 自然度

現存植生図から作成した調査区域の植生自然度は図 4.1.5-4 に示すとおりです。

調査区域の山地では、「植林地」、「二次林」が広く分布しており、平地では、「農耕地」、「二次草原」が広く分布し、「二次林」が点在しています。また、河川周辺では、「自然草原」、「自然林」がわずかにみられます。



凡例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 市町村界

植生図

- 10: 自然草原
- 9: 自然林
- 8: 二次林 (自然林に近いもの)
- 7: 二次林
- 6: 植林地
- 5: 二次草原 (背の高い草原)
- 4: 二次草原 (背の低い草原)
- 3: 外来種植林、農耕地 (樹園地)
- 2: 外来種草原、農耕地 (水田・畑)
- 1: 市街地等

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成

出典：「第6-7回自然環境保全基礎調査 植生調査」(令和7年12月現在、環境省自然環境局生物多様性センター)

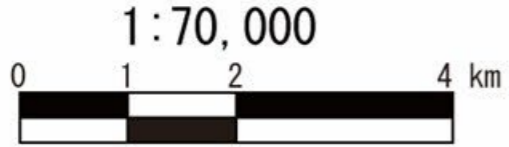


図 4.1.5-4 植生自然度図